

産文会館取壊し・広場整備のムダ使いをただす住民監査請求

請求署名がスタート、ムダ使いをストップし、くらし・福祉・教育を充実させましょう！

花畑町広場に 20 億円、桜町大会議場に 300 億円のムダ使いは許さない

これまで産業文化会館の再開を求め、市民の手による存続の署名活動が行われてきました。しかし、市長は、まだ使える産業文化会館を無理やり取り壊し、「広場整備」のために産業文化会館解体費と隣地の買収費・合計 20 億円を予算化しました。

(20 億円の内訳)

産文解体費 4.7 億円
用地買収費 3.5 億円
建物補償費 11.45 億円

「ダメなものダメ！」

署名スタート集会では、御船町で竹バイオマス問題で住民監査請求・住民訴訟を取り組んでいる会の事務局長・福永氏の講演がありました。徹底してムダをただす立場で粘り強く取り組まれています。

市政のムダ使いは許さない、不当な支出はやめてほしいと市民が立ち上がり、「住民監査請求」を行うことになりました。12 月中旬の請求書提出に向けて、署名活動が始まりました。監査請求署名への協力をお願いします。



会として「住民監査請求」を求める理由

【その 1】

産業文化会館は、建設から約 30 年しか経っておらず、改修すれば十分に使用できます。年間利用者 30 万人の産業文化会館再開を求める署名は 1 万人以上集まっています。産文会館がなくなれば、中心市街地に「中規模ホール」がなくなります。

【その 2】

産業文化会館廃止の理由は、「花畑町再開発」を行うということでした。「花畑町再開発」が破たんしたことで、廃止理由はなくなりました。当然再開すべきです。

【その 3】

「花畑町広場」の構想は、2012 年 11 月に突然発表されたもので、十分な検討がされていません。しかも、利用が想定されているイベントの内容は委員会の前日に考えられたもので、全く熟慮を欠いています。

【その 4】

広場整備のために産文会館隣地を 15 億円かけて買収します。(用地費 3.5 億円、補償費 11.45 億円) 再開発事業を推進し破たんさせた事業者の土地を買うことは再開発失敗の尻拭いに等しい不当なものです。

【住民監査請求とは？】

住民監査請求とは、市民が、市長や市の職員等による違法又は不当な公金の支出、財産の管理、契約の締結などの財務会計上の行為等があると考えるときに、監査委員に対し監査を求め、必要な措置を請求する制度です。(地方自治法第 242 条)

- 今回の監査請求は、12 月中旬に監査事務局へ提出する予定です。
- 署名ができるのは、熊本市内に住民票の住所がある 20 歳以上の市民です。(署名用紙には、自筆で記入し、押印が必要です)

〈お問い合わせ先〉 「花畑広場のムダ使いをただす会」

Tel 366-4281 住所 中央区大江 5-15-9

★会場で、署名用紙や内容のわかる資料を準備しています。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市手取本町 1-1 議会棟 3 階

No. 874
2013 年 11 月 10 日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



11年の幸山市政で削減された暮らし福祉のサービス

自治体の本来の役割は暮らしと福祉を守ることです

年金の削減や介護保険料の引き上げに加え、来年4月からは消費税増税が強行されようとしています。国が進める痛み押しつけの政治から、住民の暮らしと福祉を守る役割が熊本市に求められています。

しかし、幸山市政となり11年、市民生活にかかせない様々な福祉

サービスが事細かに削減される一方、中心市街地の再開発など大型公共事業には数十億、数百億もの莫大な税金が投入されようとしています。

これでは、市民の暮らしと福祉を守ることができません。市政のあり方を根本から改める必要があるのではないのでしょうか？

さくらカード有料化・特定健診有料化・家庭ごみ袋有料化など負担のオンパレード

市民が市政に最も望んでいることは、暮らし福祉の充実です。

しかし、この間、国民健康保険料や介護保険料の引き上げをはじめ、さくらカード有料化による高齢者・被ばく者・障がい者への受益者

負担導入、特定健診の負担増(その前の基本健診は負担ゼロ)、がん検診の負担増、家庭ごみ袋有料化、市街地駐輪場の有料化など、市民負担のオンパレードです。

敬老祝い金の削減・あんまはり灸補助の削減など福祉サービスの削減

一方、高齢者への敬老祝い金の制度も幸山市政になってから金額の引き下げ、祝金から祝品への変更など、サービス水準の削減が行われました。

また、あんまはり灸への補助についても、利用者の声を聞かないまま、回数は1/3の30回に減らされ、補助額も大幅に削減されました。



敬老祝い金制度の推移

	2003年	2013年
80歳	3000円	1000円
88歳	3000円	2700円
100歳	5万円	2万7千円
101歳以上	3000円	2700円

※2004年からは「祝金」から「祝品」に変更

あんまはり灸助成制度の推移

	2003年	2012年
助成額	1500円	1000円
回数(上限)	96回	30回
利用者	9433人	6921人

高齢者生きがい作業所の廃止、熊本五福幼稚園・古町幼稚園の廃園など計画

幸山市政となり、熊本市立産院の廃止、産業文化会館の閉館など、市民から存続の要望が強く寄せられていた施設の廃止が強行されました。さらに今後、高齢者生きがい作業所の廃止、熊本五福幼稚園・古町幼稚園の閉園なども計画されています。



子ども医療費無料化 周辺市町村と比べ遅れています

子どもを持つ親にとって「子育てにかかる経済的な負担軽減」は最も切実な願いです。子ども医療費について、益城町、菊陽町、西原村、菊池市など周辺の自治体が中学3年まで無料であることに対して、熊本市は小学3年まで。周辺市町村と比べても遅れています。



熊本市と周辺市町村との子ども医療費助成制度の比較

	対象年齢		自己負担
	入院	通院	
熊本市	小学3年まで	小学3年まで	医科3歳以上、歯科5歳以上 1医療機関 月500円
菊池市	中学修了	中学修了	中学生 入院 2,000円/月、外来 1,000円/月
益城町	中学修了	中学修了	無
甲佐町	中学修了	中学修了	無
嘉島町	中学修了	中学修了	無
菊陽町	中学修了	中学修了	無
西原村	中学修了	中学修了	無
合志市	小学修了	小学修了	無
宇土市	小学3年まで	小学3年まで	小学生以上 入院 2,000円/月、外来 1,000円/月
宇城市	小学3年まで	小学3年まで	小学生以上 入院 2,000円/月、外来 1,000円/月